

要約

新たな青森県産きのことして、夏季冷涼な本県での栽培に適したアラゲキクラゲ新品種を開発しました。

研究成果の概要

1 背景・目的

本県のきのこ生産者が取り組みやすい品種の開発を目指し、夏場の栽培に向くアラゲキクラゲに着目しました。キクラゲ類は、国内消費量の約9割を輸入品が占めていますが、近年、安全・安心な国産品を求めるニーズが高まっています。



写真1 アラゲキクラゲ新品種

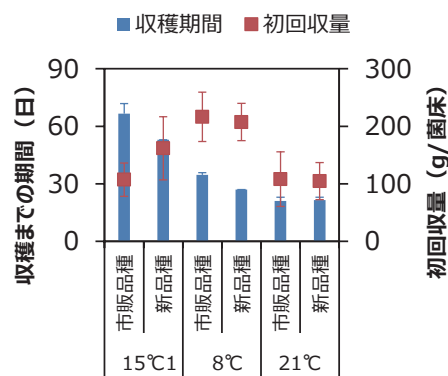


図 栽培温度別の収穫期間と初回収量

2 内容

- 夏季冷涼な本県での栽培に適したアラゲキクラゲ品種を作出しました (写真1)。
- 新品種の特徴は、市販品種に比べ、①歯ごたえが良く、②明るく鮮やかな色合いで、③低温下で成長が早いことです (図)。
- シイタケなどのきのこ類の生産が落ち込む夏場の栽培に向いており、菌床シイタケの栽培施設や農業用ハウスを利用できます。



写真2 生産者施設での試験栽培状況

3 活用等

- 「アラゲキクラゲ栽培の手引き」を作成しました。
- 生産者施設で試験栽培を行うとともに (写真2)、県と連携して種菌供給体制の構築に取り組んでいます。

関連情報

- 「アラゲキクラゲ栽培の手引き」は林業研究所のホームページから入手できます。